

### ①こども施策について ②農業施策について 富野 孝之 議員

**問** ①-1学童保育所の保護者負担軽減「実務者会議」のステップと目標は?①-2短縮授業期間も学校給食の実施を!②-1多面的機能交付金の対象に白地農地も追加?また農家負担が軽減できる「池ソーラ」を市が推奨するよう要望します。②-2本市の食料自給率引上げ策は?

**答** ①-1実務者会議から(仮称)サポートセンターを立ち上げ、将来的には、地域に見合った運営方式を確立していきたいと考えております。①-2学校現場や物質調達を行っている県学校給食会等の関係機関と協議を進めてまいります。②-1白地農地では、作物を作ることが条件となっております。②-2耕作放棄地の解消、担い手への農地集積等、農地が有効活用されるよう努めます。

### 住民訴訟における連続敗訴責任と行政の在り方について 丸谷 利一 議員

**問** 金魚電話ボックス訴訟公金補助の住民訴訟で市は敗訴。市は3年前にも税金の超過差押えの住民訴訟で全面敗訴。行政が住民訴訟で敗訴することは異例でその要因は、組織団体の圧力に弱く、弱者である個人に強い硬直化した行政組織にある。これをどう考えるのか。JR郡山駅東側市有地訴訟は大阪高裁で7月判決。これに従うのか。

**答** 二つの判決につきましては本市の主張が受け入れられず残念ですが、結果につきましては真摯に受け入れ、今後の行政運営に活かしてまいります。また、これまでも常に全体のことを考えて判断しており、特定の団体などに向けた政治的打算はありません。JR郡山駅に関する裁判については適正な行政執行であったと解釈しています。

### 中学校の部活動について 吉川 幸喜 議員

**問** ①小学校から続けている競技が校区内の中学校にない場合、実施している校区外の中学校に進学することはできますか②BMXやスケードボードなど個人で活動している子どもたちが全国や世界で活躍していますが、本市においては何か支援をしているのかお聞きします。

**答** ①小学校から継続して活動を行っていることの確認を行い、通学の安全性を考慮し自宅から近いその競技を実施している中学校への校区外就学を認めております。②個人での活動となり、遠征費の一部補助など金銭的な支援などはございませんが、大きな大会に出場する場合は、学校長の判断によりできるだけ協力体制がとれるよう対応させていただいております。

### 市所有地の利活用について 尾口 五三 議員

**問** 市が所有して、利用していない土地はどのくらいあるのか、その土地はどうするのかを質問。市民病院としての利用を提案・要望しました。

**答** 市所有の未利用地は51箇所、約65,000㎡です。市民病院の設置や病院の誘致につきましては現在のところ予定はございませんが、新たに病院の開院などで市有地の買い取りの相談などがありましたら、市医師会のご意見もいただきながら、検討してまいります。なお、病院に限らず現在未利用であり、将来においても利用が見込めない市有地につきましては売却に取り組み、行財政改革に努めてまいります。

### 環境を考慮した学校(エコスクール)について 河田 和美 議員

**問** ①環境教育とプラごみ削減にもなる、給食での牛乳パック・ストローレス化について導入のお考えは?②環境を考慮した学校施設、環境・エネルギー教育(エコスクール)の推進について、今後の取り組みのお考えは?

**答** ①学校給食における牛乳パック・ストローレス化については、最近「ストローレスパック」という製品も開発されているとのことですので、奈良県や他の市町村とも協議をしながら、その動向を注視してまいります。②エコスクールの促進については、他市の事例等も参考に学校施設の整備促進を行ってまいります。また、環境・エネルギー教育については、地域、家庭、学校・園の間で連携し、今後も積極的に取り組んでまいります。

### 高齢者の外出支援について 上田 健二 議員

**問** この事業は、公共交通空白地を地域住民が助け合って自主運行するものとして始まったが、情報が少なく外出そのものをあきらめている方、他の地区でも行いたい、どのように始めればよいかわからないとの声もある。そこで、実証地区をモデルとした「移動支援スタートアップマニュアル」を作成し、周知する必要があるのでは?

**答** 現在、矢田地区ではのべ533の方が利用されています。筒井地区ではアンケート調査を実施し協議を行っています。また、関係団体との調整役として活動する第2層生活支援コーディネーターが矢田地区の取組みを他の地区に紹介し、実施について働きかけているところで、マニュアルの作成については今後検討してまいります。